

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、学年の始めには常にこの『履修の手引』を携帯し、機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I
共通事項（全学生共通）

1
授
業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

II 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。

編入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

授 業

1

履 修

2

試験・成績

3

単位認定制度

4

学 籍

5

その他

6

教務事務

7

教育課程の構成

8

進級・卒業

9

教育課程表

10

他学部・他学科開放科目／
産学連携教育プログラム

11

編

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2017年度学年暦／建学の精神／学部長メッセージ／経済学部の教育理念 ―コースについて―

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1]学 期	1
[2]授業時間	1
[3]授業の出席	1
[4]授業の欠席	2
[5]休 講	3
[6]補 講	3
2 授業科目	3
[1]開 講 期	3
[2]配当年次	3
[3]授業科目の種類	3
3 単 位 制	4
[1]単位制とは	4
[2]単位を修得するための学修時間	4
[3]各授業科目の単位数	4
[4]単位の認定	4

2 履修

1 履修のルール	5
[1]履修登録とは	5
[2]履修単位数の上限	6
[3]クラス指定	6
[4]再 履 修	7
[5]履修できない科目	7
2 履修登録方法	8

3 試験・成績

1 試 験	11
[1]試験の種類	11
[2]定期試験の欠席	12
[3]試験日程・受験手続	12
[4]試験時間	13
[5]受験資格・受験上の注意 (学年暦に定められた期間に行われる試験) …	13
2 成 績	14
[1]成績評価・成績表記	14
[2]GPA(成績平均点数制)	15
[3]成績発表	16
[4]成績調査	16

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	17
2 各制度の内容及び申請方法等	18
[1]既修得単位	18
[2]知識及び技能に係る審査の成果	20
[3]派遣留学生(短期海外研修)	24
[4]派遣学生(国内)	25
[5]インターンシップ	26
[6]ボランティア活動	26

5 学籍

1 修業年限と在学期間	27
2 学籍の異動	28
[1]休 学	28
[2]復 学	29
[3]退 学	29
[4]除 籍	29
[5]転 学 部	29

6 その他

1 英語運用力テスト―新入生―	30
2 Meikai Plurilingual and Pluricultural Education Commons(MPPEC)	30
3 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	31
4 科目等履修生	31
5 研 究 生	31

7 教務事務

1 証 明 書	32
2 事務取扱時間	33
3 問い合わせ	33
4 学生への連絡	34
[1]Webポータルシステムによる掲示配信	34
[2]掲示板の場所と掲示内容	34

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成	35
2 専門科目	37
[1]コース登録	46
[2]コース変更	46
3 卒業論文	46

9 進級・卒業

1 進級	47
[1]進級要件	47
[2]進級発表	49

2 卒業	49
[1]卒業要件	49
[2]卒業単位充足者・卒業予定者発表	52
[3]学位	52
3 年次(学期)別基準単位数	53

10 教育課程表

教育課程表	65
-------	----

11 他学部・他学科開放科目/産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修	82
産学連携教育プログラムの履修	90

II 編入学生特記事項

1 修業年限と在学期間	93
2 2年間の学修計画	93
3 既修得単位の認定	93
[1]包括・弾力認定	93
[2]個別認定(α)	93
4 コース選択(2017年度編入学生)	95
5 卒業要件	95

6 その他	95
[1]クラス指定	95
[2]修得(認定)済科目の履修	95
7 教育課程表(編入学生用)	97

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
						1	7/7(金)	前学期定期試験時間割発表 前学期補講期間 休日授業実施日(海の日) 前学期授業終了 前学期定期試験期間
2	3	4	5	6	7	8	7/12(水)~25(火) 7/17(月) 7/25(火) 7/26(水)~8/1(火)	
9	10	11	12	13	14	15		
16	17 海の日	18	19	20	21	22		
23 30	24 31	25	26	27	28	29		

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
		1	2	3	4	5	7/26(水)~8/1(火)	前学期定期試験期間 前学期定期試験欠席届提出期限 夏季休暇 9月卒業単位充足者発表 前学期追(再)試験時間割、該当者発表 前学期追(再)試験受験手続期間 前学期追(再)試験期間 単位認定申請期限(前学期成績反映分)
6	7	8	9	10	11 山の日	12	8/2(水) 8/2(水)~9/14(木) 8/21(月) 8/21(月)・22(火) 8/21(月)・22(火)	
13	14	15	16	17	18	19	8/23(水)~25(金) 8/25(金)	
20	21	22	23	24	25	26		
27	28	29	30	31				

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2 休業日	8/2(水)~9/14(木) 9/2(土) 9/4(月) 9/4(月)	夏季休暇 振替休日(休業) 9月進級発表 9月卒業予定者発表 前学期成績発表 前学期成績調査願提出期間 4年(8学期) 前学期成績調査願提出期間 1年(1学期)~4年(7学期)
3	4	5	6	7	8	9 休業日	9/4(月) 9/4(月)・5(火) 9/4(月)~7(木)	
10	11	12	13	14			9/9(土) 9/14(木) 9/14(木)	

振替休日(休業)
オリエンテーション(9月進級者)
9月学位記授与式

■後学期 9/15 (金) ~ 3/31 (土)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					15	16	9/15(金)	後学期授業開始 履修登録修正期間 9/15(金)~22(金) 9/18(月) 9/23(土) 休日授業実施日 (敬老の日) 休日授業実施日 (秋分の日)
					履修登録修正期間		9/15(金)~22(金)	
17	18	19	20	21	22	23	9/18(月)	
	履修登録修正期間						9/23(土)	
	敬老の日					秋分の日		
24	25	26	27	28	29	30		

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	10/9(月) 10/31(火)	休日授業実施日 (体育の日) 後学期授業料等納入期限
8	9	10	11	12	13	14		
	体育の日							
15	16	17	18	19	20	21		
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31						

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4	11/1(水)~30(木) 11/3(金)~6(月)	クリーンキャンペーン月間 明海祭 (休講) ※準備、片付けを含む。
					文化の日			
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
				勤労感謝の日				
26	27	28	29	30				

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	12/15(金) 12/23(土) 12/25(月)	後学期定期試験時間割発表 休日授業実施日 (天皇誕生日) 冬季休暇 振替休日 (休業)
						9	~2018/1/6(土)	
							12/28(木)	
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
						天皇誕生日		
24	25	26	27	28	29	30		
31				休業日				

2018/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1 元日	2	3	4	5	6	12/25(月) ~2018/1/6(土)	冬季休暇
7	8 成人の日	9	10	11	12	13 休業日	1/9(火)・10(水) 1/9(火)~11(木) 1/11(木) 1/12(金)	休講日 後学期補講期間 後学期授業再開
14	15	16	17	18	19	20	1/13(土)・14(日) 1/15(月)~22(月) 1/22(月)	大学入試センター試験準備日(休講) 大学入試センター試験(休業) 後学期補講期間 後学期授業終了
21	22	23	24	25	26	27	1/23(火)~29(月) 1/30(火)	後学期定期試験期間 後学期定期試験欠席届提出期限
28	29	30	31				1/30(火) 1/31(水)	春季休暇開始 単位認定申請期限 4年(8学期)

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3 休業日	2/3(土) 2/9(金)	振替休日(休業) 卒業単位充足者発表
4	5	6	7	8	9	10 休業日	2/9(金)・13(火) 2/9(金)・13(火) 2/10(土)	後学期追(再)試験時間割、該当者発表 後学期追(再)試験受験手続期間 振替休日(休業)
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14	15	16	17	2/14(水)~16(金) 2/28(水)	後学期追(再)試験期間 単位認定申請期限 1年(1学期)~4年(7学期)
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28					

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3	3/1(木)	卒業予定者発表
4	5	6	7	8	9	10	3/1(木)・2(金) 3/14(水) 3/15(木)	成績発表 4年(8学期) 成績調査願提出期間 4年(8学期) 学位記授与式 進級発表
11	12	13	14	15	16	17	3/15(木)	成績発表 1年(1学期)~4年(7学期)
18	19	20	21 春分の日	22	23	24	3/31(土)	学年終了
25	26	27	28	29	30	31		

注意 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で指示します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

経済学部で学ぶ皆さんへ

経済学部長 下田直樹

経済学部へようこそ。新入生の皆さんは晴れて大学生となった喜びにさぞや胸を躍らせていることでしょう。本当におめでとうございます。また、在学生の皆さんは気持ちも新たに、再び始まるこれからの1年にさまざまな思いを交錯させているものと思います。この冊子は、大学生活のなかでもっとも重要な授業の履修登録や単位の修得などに関する手続きや諸注意をまとめたものです。わからないことや困ったことがあったら、まずこの冊子を開いてください。

さて、経済学部は2015年度より、教育課程を大きく改革しました。これは、本学の建学の精神に基づく人材育成のさらなる推進と学びの道筋を明確化することを目的としたものです。

その第1は、コース制の再編成です。「グローバル経済」、「生活・環境」、「経営」と、これまで3つあったコースを「グローバル経済」と「グローバル経営」の2コースとしました。社会の変化や学びのニーズに的確に対応するためです。

第2は、少人数制教育を徹底するために、これまで選択科目であった3、4年次のゼミナール（経済学演習1、2）を必修化し名称も専門ゼミと改め、また2年次にプレゼミを組み込んで、初年次ゼミ（フレッシュパーソンゼミ）を起点とする4年間の一貫ゼミ制をスタートさせました。

第3は、地域に根ざす大学として、特色ある「地域研究」をカリキュラムに組み入れました。自らが学び、暮らす地域にもっと目を向けることで、地域と一体となった大学の発展を図ろうと考えました。

そして、2年次までの学修の成果を客観的に測る指標として、「グローバル経済コース」では経済学検定試験Bランクへの到達を、「グローバル経営コース」では日商簿記検定2級取得を進級要件として導入しました。低学年次における学修の目標を明確化するとともに、経済・経営に関する「確かな力」を身につけてもらうためです。

その他、英語科目を各年次に置くなど、グローバルな人材育成も意識したカリキュラムとしました。この新カリキュラムのもとで皆さんが、体系的・計画的に経済学から経営・会計学、法学等をトータルに学び、建学の精神にいう「社会性、創造性、合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材」となることを願っています。

なお、この新カリキュラムは2015年度4月入学生から適用となります。したがって、2014年度以前入学の学生は3コース制のこれまでどおりのカリキュラムですが、いくつかの点で内容の充実・強化を図りました。

1つは、インターンシップやボランティアといった体験型学修の種類とプログラムを充実させました。普段の教室の座学だけでは得られない貴重な体験を積んでもらうことが狙いです。

2つは、海外研修プログラムを充実させたことです。オーストラリアでの異文化実地研修に加え、最近脚光を浴びているASEAN諸国等への経済視察も行います。

また、3年次からのゼミナールもより多くの学生が履修できるように工夫しました。

いうまでもありませんが、大学の授業はただ漫然と先生の話聞くだけでなく、自ら調べ、考えることも大切です。そのために本の宝庫であるメディアセンター（図書館）も大いに利用しましょう。また、教科書だけでなく、経済に関する本もたくさん読んでください。

もちろん、大学生活は学業だけでなく、クラブ・サークルといった課外活動やボランティア、インターンシップ、海外研修、学園祭など、わくわくすることがたくさんあります。4年間はあっという間に過ぎてしまいますが、学生時代は何物にも代えがたい貴重な経験を数多くできる機会です。皆さんが充実した学生生活を送り、立派な社会人となられることを願ってやみません。

経済学部 of 教育理念

— コースについて —

2015年度以降入学生

明海大学では、コース制をとっています。これは、「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材を育成する」という建学の理念の具現化をめざし、「社会の変化に対応し、学生自身が自らの将来の課題を探究し、柔軟かつ総合的な判断ができる能力を身につける」ための履修制度です。21世紀を担う幅広い職業人の養成という視点から、学生の実学指向にこたえる「21世紀型の学びのスタイル」を実現するという点に特色があります。

経済学部では、この理念・目的をふまえ、教養と専門及び理論と実践にバランスのとれた「専門知識」と「ビジネスのスキル」を学ぶ履修システムを構築しました。幅広い視野をもって国際社会で活躍できる有為な人材の育成を目指し、現代社会から求められる論理的思考力、課題探究能力の基本を身につけることができるように編成されています。

本学部では、入学後それぞれの関心や意欲に応じて「21世紀型の学びのスタイル」を実現し、学生自らが個性・能力を最大限に開花させることができるように、教育内容と教育方法の両面で、学部全体が学びの仕組みと環境の整備に取り組んでいます。

具体的には、専門教育の課程にグローバル経済、グローバル経営という2つのコースを設けており、学生は各コースのなかで共通の必修科目、コース基礎・発展科目を体系的に学んでいくことができます。さらに、経済学部のカリキュラム（教育課程）には次のような特徴があります。

- セメスター制（1つの授業を前・後学期（＝セメスター）ごとに完結させる制度）の導入
- 指導教員制度（入学直後からのクラス担任制による教育指導：フレッシュパーソンゼミ）の導入
- オフィス・アワー（教員が授業内容等に関する学生の質問などに応じるための時間帯）の導入
- 1年次からの資格取得支援教育の推進
- 専門教育におけるコア科目での学習到達度別クラスの編成と少人数教育の充実
- 専門教育を活かしたキャリアプログラム（インターンシップ・ボランティアなど）の推進
- 国際化に対応する海外研修（シーキューユニバーシティ等での語学研修）の機会の提供
- 現代の経済・社会に生じている各種問題（国際金融、開発・環境、人口、生活・社会保障、公共政策、金融・証券市場などの問題）に応じた経済・経営関連の実践科目の充実
- 各種資格取得試験対策の教育の実践〔経済学検定、簿記検定、MOS（Word/Excel/Power Point）検定、J検、秘書検定など〕
- 専門知識の修得に向けた目的意識の醸成と学修成果の獲得の観点から2年次から3年次の進級に当たって各コースの進級基準を設定

2014年度以前入学生

明海大学では、コース制をとっています。これは、「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材を育成する」という建学の理念の具現化をめざし、「社会の変化に対応し、学生自身が自らの将来の課題を探求し、柔軟かつ総合的な判断ができる能力を身につける」ための履修制度です。21世紀を担う幅広い職業人の養成という視点から、学生の実学指向にこたえる「21世紀型の学びのスタイル」を実現するという点に特色があります。

経済学部では、この理念・目的をふまえ、教養と専門及び理論と実践にバランスのとれた「専門知識」と「ビジネスのスキル」を学ぶ履修システムを構築しました。幅広い視野をもって国際社会で活躍できる有為な人材の育成を目指し、現代社会から求められる論理的思考力、課題探究能力の基本を身につけることができるように編成されています。

本学部では、入学後それぞれの関心や意欲に応じて「21世紀型の学びのスタイル」を実現し、学生自らが個性・能力を最大限に開花させることができるように、教育内容と教育方法の両面で、学部全体が学びの仕組みと環境の整備に取り組んでいます。

具体的には、専門教育の課程にグローバル経済、生活・環境及び経営という3つのコースを設けており、学生は各コースのなかで共通の必修科目、コース基礎・発展科目を体系的に学んでいくことができます。さらに、経済学部のカリキュラム（教育課程）には次のような特徴があります。

- セメスター制の導入
- 指導教員制度（入学直後からのクラス担任制による教育指導）の導入
- オフィス・アワーの導入
- 1年次からの資格取得支援教育の推進
- 専門教育におけるコア科目での学習到達度別クラスの編成と少人数教育の充実
- 専門教育を活かしたキャリアプログラム（インターンシップなど）の推進
- 国際化に対応する海外研修（シーキューユニバーシティ等での語学研修）の機会の提供
- 現代の経済・社会に生じている各種問題（国際金融、開発・環境、人口、生活・社会保障、公共政策、金融・証券市場などの問題）に応じた経済・経営関連の実践科目の充実
- 各種資格取得試験対策の教育の実践〔簿記検定、MOS（Word/Excel/PowerPoint）検定、J検、秘書検定など〕

セメスター制：1つの授業を前・後学期（＝セメスター）ごとに完結させる制度

オフィス・アワー：教員が授業内容等に関する学生の質問などに応じるための時間帯